

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 28 日 (2020.5.28)

【公表番号】特表 2019-514913 (P2019-514913A)

【公表日】令和 1 年 6 月 6 日 (2019.6.6)

【年通号数】公開・登録公報 2019-021

【出願番号】特願 2018-556332 (P2018-556332)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 38/08 (2019.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 41/00 (2006.01)

A 6 1 L 31/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 38/08

A 6 1 L 31/00

A 6 1 P 41/00

A 6 1 L 31/06

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 15 日 (2020.4.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

癒着形成を減少させるかまたは既に形成された癒着を減少させるために対象を治療する方法で使用されるための損傷した中皮細胞による癒着形成を妨害する、薬剤。

【請求項 2】

( a ) 顆粒球もしくは炎症性顆粒球を枯渇させることによって、または、( b ) 顆粒球もしくは炎症性顆粒球の動員を阻害することによって、癒着形成を減少させるかまたは既に形成された癒着を減少させるために対象を治療する方法で使用されるための癒着形成を妨害する、薬剤。

【請求項 3】

マクロファージ及び炎症性単球のうち的一方または両方の動員を促進することによって、癒着形成を減少させるかまたは既に形成された癒着を減少させるために対象を治療する方法で使用されるための癒着形成を妨害する、薬剤。

【請求項 4】

前記薬剤は、損傷した中皮細胞において発現が誘導される遺伝子産物の発現もしくは活性を阻害するか、または、損傷した中皮細胞において発現が誘導される遺伝子産物に選択的に結合する、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の薬剤。

【請求項 5】

前記遺伝子産物は、ウロプラキン 1 B ( U P K 1 B ) またはメソテリン ( M S L N ) で

ある、請求項 4 に記載の薬剤。

【請求項 6】

(a) 前記薬剤は、UPKB1 に競合的に結合するか、または、UPKB1 を標的としており、任意には、前記薬剤は、抗UPKB1 抗体もしくはその結合断片、マンノース、UPK1 結合部分にコンジュゲートされたマンノース、または、UPKB1 との結合のため選別された、ペプチド、ペプチド、RNA、DNA、PNA、もしくはその他の遺伝子操作分子から選択されるか、または、

(b) 前記薬剤は、MSLN に特異的に結合するポリペプチドであり、任意には、前記薬剤は、抗MSLN 抗体もしくはその結合断片、MSLN 結合部分にコンジュゲートされたマンノース、または、MSLN との結合のため選別された、ペプチド、ペプチド、RNA、DNA、PNA、もしくはその他の遺伝子操作分子から選択される、

請求項 1 または 5 に記載の薬剤。

【請求項 7】

前記方法は、損傷した中皮細胞の枯渇を達成する用量で、CD47 と SIRP との結合を妨害する第 2 の薬剤を投与することを含んでおり、

任意には、前記第 2 の薬剤は、CD47 に結合するポリペプチドであり、任意には、前記ポリペプチドは、抗CD47 抗体、シグナル調節タンパク質アルファ (SIRP) ポリペプチド、いずれかのCD47 結合断片、及び、それらの任意の組み合わせからなる群から選択される、

請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の薬剤。

【請求項 8】

(a) 前記遺伝子産物は、好中球を動員するかもしくは枯渇させ、ならびに / または、

(b) 前記遺伝子産物は CXCL1 ケモカインであり、任意には、(i) 前記 CXCL1 ケモカインは、CXCL1 及び CXCL2 からなる群から選択されるか、(ii) 前記薬剤は、エキノマイシン、PX12、FM19G11、クリプトタンシノン、ケトミン、ボルテズミブ、アクリフラビン、メチル 3 - [ [ 2 - [ 4 - ( 2 - アダマンチル ) フェノキシ ] アセチル ] アミノ ] - 4 - ヒドロキシベンゾエート、ジメチルオキサロイルグリシン (DMOG)、ケモチン、YC-1、クリシン、ジメチル - ビスフェノール A、CL67、及び、それらの組み合わせからなる群から選択される、または、

(c) 前記遺伝子産物は、低酸素誘導性因子 1 - アルファ (HIF-1) である、

請求項 4 に記載の薬剤。

【請求項 9】

前記薬剤は、好中球の枯渇及び好中球動員の阻止のうちの一方または両方をもたらす、任意には、前記薬剤は、Gr-1、CD66b、CD177、CXCR1、VAP1、CXCR2、及び CD10 から選択される顆粒球マーカーに結合するポリペプチドであり、任意にはさらに、前記薬剤は抗体またはその結合断片である、請求項 1 または 2 に記載の薬剤。

【請求項 10】

前記薬剤は、損傷した中皮細胞を標的として破壊または除去する、請求項 1 に記載の薬剤。

【請求項 11】

前記薬剤は、癒着部位に炎症性マクロファージを動員する、請求項 1 または 3 に記載の薬剤。

【請求項 12】

(a) 炎症性マクロファージ動員剤は、単球走化性タンパク質 1 (MCP-1) もしくはその炎症性マクロファージ動員部分、チオグリコレート、PLGA、または、それらの組み合わせからなる群から選択される、及び / または、

(b) 前記方法は、炎症性マクロファージ動員剤を手術前に投与することを含む、請求項 11 に記載の薬剤。

【請求項 13】

前記方法は、損傷した中皮細胞の枯渇を達成する用量で、CD47とSIRPとの結合を妨害する第2の薬剤を投与することを含んでおり、

任意には、前記第2の薬剤は、CD47に結合するポリペプチドであり、任意には、前記ポリペプチドは、抗CD47抗体、シグナル調節タンパク質アルファ(SIRP)ポリペプチド、いずれかのCD47結合断片、及び、それらの任意の組み合わせからなる群から選択される、

請求項8～12のいずれか一項に記載の薬剤。

【請求項14】

(a) 前記癒着は腹部の癒着であり、

(b) 前記癒着は術後癒着であって、任意には、

(i) 前記薬剤が、対象に対して実施される外科的処置の前に投与されるか、または

、

(ii) 前記薬剤が、対象に対して実施される外科的処置の後に投与される、

請求項1～13のいずれか一項に記載の薬剤。

【請求項15】

(a) (i) 癒着を減少させるために有効な量である、癒着形成を標的とする薬剤と、(ii) 薬学的に許容される担体とを有する医薬組成物、及び、(b) 前記医薬組成物を対象に投与する際の説明書を含んでおり、任意には、

(i) 前記薬剤は、抗メソテリン抗体もしくはそのメソテリン結合断片、抗UPKB1抗体もしくはそのUPKB1結合断片、単球走化性タンパク質1(MCP-1)もしくはその炎症性マクロファージ動員部分、Gr-1、CD66b、CD177、CXCR1、VAP1、CXCR2、及びCD10から選択される顆粒球マーカーに特異的な抗体、チオグリコレート、PLGA、マンノースまたはそのUPKB1結合誘導体、及び、それらの任意の組み合わせからなる群から選択される、ならびに/または、

(ii) 抗CD47抗体、シグナル調節タンパク質アルファ(SIRP)ポリペプチド、またはいずれかのCD47結合断片をさらに含む、

キット。